

研究構想シート		学校名	浜田市立国府小学校
		氏名	石井亜紀
A 研究主題	自己を見つめ みがき合い よりよく生きる子どもの育成		～道徳教育の充実をとおして～
B 研究の目的	道徳科の授業と全ての教育活動をとおして、児童が自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい自分を目指す資質・能力を育成する		
C 子どもの実態 ○ 素直で明るい雰囲気をもっている。 ○ 声掛けされたことに対して、聞き入れ、応じることができる。 △ 自己肯定感が低い。 △ 自分の思いや考えを相手に伝える力や望ましい人間関係を構築する力が脆弱である。	E 手立て・内容（研究仮説） ①道徳科の授業において主題設定を明確化し、児童一人一人が主体的に考え、議論する学び合いの手立てを工夫すれば、道徳的諸価値の理解を基に自己を見つめ、他者と対話し協働しながら、人間としてよりよく生きていこうとする意識や態度が養われていくであろう。 ②全教育活動における道徳教育を計画的・発展的に積み重ねていけば、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養い、主体的に実践しようとする児童が育つであろう。		D めざす子どもの姿 自己を見つめる子 ▶これまでの自分の経験やそのときの感じ方、考え方と照らし合わせながら、さらに考えを深める。 ▶道徳的価値理解と同時に自己理解を深める。
	F 検証方法 道徳科の指導内容と学びや日常体験をつなぎ、意図的な教育活動を行う。 ・道徳科の授業研究を行い、授業と評価の一体化を図る。 ・すべての教育活動において、重点内容項目を意識した意図的な取組を展開する。 ・アンケートQUの分析をとおして、個や集団の実態を把握し、指導に生かす。		みがき合う子 ▶多様な価値観を前提にして、他者と対話したり協働したりしながら、物事を多面的・多角的に考える。 ▶価値理解と同時に人間理解や他者理解を深める。
	G 研究計画 ・今年度の校内研究について ・道徳教育全体計画について（重点目標の取組） ・【校内研修①】「特別の教科 道徳」について ・【校内研修②】道徳の評価について ・【校内研修③】別葉の作成について ・【出前講座】「考え、議論する」道徳の授業づくり ・研究授業（市教委訪問指導を含む） ・アンケートQUを活用した児童の実態把握 ・各教育活動における道徳教育の推進 ・研究のまとめ ➡ 来年度の道徳教育重点目標決め		よりよく生きる子 ▶自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己を深く見つめられるようにする。 ▶自己の生き方として実現していこうとする思いや願いを深める。